



平成 26 年 10 月 31 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社フジ・メディア・ホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 太 田 英 昭
(コ ー ド 番 号 4 6 7 6)
問 合 せ 先 責 任 者 執行役員経理局長 奥 野 木 順 二
(T E L 0 3 - 3 5 7 0 - 8 0 0 0)

平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異 及 び 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 並 び に 営 業 外 収 益 (持 分 法 に よ る 投 資 利 益) の 計 上 に 関 す る お 知 ら せ

平成 26 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) の 連 結 業 績 予 想 と 本 日 公 表 の 実 績 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す 。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 3 月 期 通 期 の 連 結 業 績 予 想 に つ き ま し て も 、 下 記 の と お り 修 正 い た し ま し た の で 、 お 知 ら せ い た し ま す 。

平成 27 年 3 月 期 の 第 2 四 半 期 (累 計) に お い て 、 営 業 外 収 益 (持 分 法 に よ る 投 資 利 益) を 計 上 い た し ま し た の で 、 あ わ せ て お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 と の 差 異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	313,300	13,100	14,500	8,500	36.71
実 績 値 (B)	306,641	9,518	17,334	12,161	52.53
増 減 額 (B-A)	△6,658	△3,581	2,834	3,661	
増 減 率 (%)	△2.1	△27.3	19.5	43.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	307,239	14,398	15,598	6,194	26.75

2. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	650,700	34,000	36,800	22,600	97.62
今回修正予想 (B)	645,400	26,400	35,600	23,700	102.37
増減額 (B-A)	△5,300	△7,600	△1,200	1,100	
増減率 (%)	△0.8	△22.4	△3.3	4.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	642,145	31,527	34,838	17,282	74.62

3. 差異及び修正の理由

平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の実績につきましては、株式会社フジテレビジョンにおいて、放送事業収入は増収でしたが、その他事業収入が厳しい状況であったことから、主力の放送事業セグメントが減収減益となりました。あわせて、消費税増税の影響などにより映像音楽事業、生活情報事業が減収、営業損失となったことなどで、連結全体の売上高、営業利益は前回予想値を下回ることとなりました。経常利益、四半期純利益は、下記「4. 営業外収益（持分法による投資利益）の計上」に記載の通り、営業外収益が増加したことにより、前回予想値を上回ることとなりました。

通期の連結業績予想につきましても、株式会社フジテレビジョンの放送事業収入が前回予想値より下回り、主力の放送事業が減収となることが見込まれるため、上記の通り修正いたします。

4. 営業外収益（持分法による投資利益）の計上

平成 26 年 8 月 27 日付け「ITC パートナース株式会社の株式の取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、ITC パートナース株式会社（現在は伊藤忠・フジ・パートナーズ株式会社に社名変更）は、当社の持分法適用関連会社となり、負ののれん 62 億 37 百万円が発生したため、営業外収益の持分法による投資利益として計上いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上